

会 議 録

会議名 (審議会等名)		令和5年度 第2回 愛川町学校運営協議会 (中津小学校)		
事務局 (担当課)		中津小学校		
開催日時		令和5年11月17日 (金) 14時45分～16時30分		
開催場所		中津小学校 1階 多目的室		
出席者	委員	7人 鈴木委員・富永委員・柏木委員・熊坂委員・太田委員 小島委員・藤本委員		
	その他	0人		
	事務局	5人 (教頭、ほか4人)		
公開の可否		<input checked="" type="checkbox"/> 公開 <input type="checkbox"/> 一部公開 <input type="checkbox"/> 非公開	傍聴者数	0人
非公開・一部公開の場合は、その理由		/		
会議次第		1 開会 2 あいさつ 3 議題 (1) 令和5年度「学校づくりアンケート (学校評価)」の質問事項について (2) 意見交換 (3) その他 4 閉会		

# 審 議 経 過

( 1 / 4 )

※審議の要旨は次のとおり (○は委員の発言、●は事務局の発言)

## 1 開会

## 2 あいさつ

鈴木会長あいさつ

学校(授業)の様子を見て(感想)

○低学年がよくおまつり(中津っ子フェスティバル)の準備に取り組んでいた。

○音楽の授業ではとても元気に歌をうたっていてよかった。

○フェスティバルの準備時間が足りるのか心配。

## 3 議題

(1) 令和5年度「学校づくりアンケート(学校評価)の質問項目について。

●事務局から変更点のみ説明。

○(委員A)4番の睡眠時間を具体的に表したほうがよいのではないか。タブレットを有効活用しているか。14番の授業参観、PTA活動を一緒に聞くのは統計をとった時に数字が違ってくるのではないか。

○(委員B)「B→ややあてはまる」、「C→あまりあてはまらない」は、わかりにくいのではないか。

○(委員C)アンケートの回答の場合、真ん中を作らない方が、傾向がわかりやすい。

○(委員A)アンケートの結果を出すときに、A、Bを合わせた数字を昨年度と比較しているが、それでは、学校にとってよい面だけを見て、改良しようとしていないのではないか。

# 審 議 経 過

( 2 / 4 )

●そういう意図は学校としてはない。A, B, C, Dの比率を明確に示している。また、おおむね良いと感じている保護者がどの程度いるかで、昨年度と比べているだけで、C, Dの数字も受け止めている。

○(委員D) C, D評価を書いた場合は、理由を書く欄があるとよいのではないか。

○(委員C) 書く欄を設けると、C, Dに記入することをためらう人もいるのではないか。

○(委員E) 14番は、保護者の意識を問うのなら、このままの言葉でよい。4番は、睡眠「9時間前後」と目安を入れるといい。

## (2) 意見交換

○(委員F) 除草のための重曹使用については、様子を見て、春頃また、行っていきたい。

花壇活動では、球根植えを行った。児童にも放送で協力を呼びかけ、一緒に活動できた。

今後、花の苗を植える。インクルーシブの会議に出席した。外国につながるのある児童が多いので、通訳の増員が必要ではないか。教育委員会に意見をあげていきたい。

## <不登校について>

○(委員A) 中津小学校の状況について。スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーは足りているのか。

●2学期までスクールカウンセラーが約40件、スクールソーシャルワーカーが2件対応した。スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカーの勤務日数を考えると、今以上に対応するのは難しいので、足りているとはいえない。ヤングケアラーは見られない。児童相談所と連携しているケースもある。いじめは、解消したもの、継続して対応しているものがある。

# 審 議 経 過

( 3 / 4 )

- |  |
|--|
| ○ (委員F) 町教委にどのようにあげていくかは、校長と相談しながら行っていきたい。   |
| ○ (委員A) 「教育総合会議」において、町が不登校の多さについて認識していないのではないか。  |
| ○ (委員E) スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーを増やしてほしいなどの予算要望は、いろいろな所から出すのがよいのではないか。                             |
| ○ (委員D) 基本的なことを、知りたい。不登校などの調査、分析したりするのは、どこなのか。   |
| ●調査は文部科学省が行っている。分析は個別のケースとなるので、学校としてそれぞれの事案に対応するために、スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーなど、関連機関と連携を取りながら行っている。 |
| ○ (委員D) 学校運営協議会として、できることはあるのか。愛川町の不登校の割合が全国、神奈川と比べても多いのはどこに原因があるのか。中津小学校の不登校の背景を見ていく必要があるのではないか。   |
| ○ (委員E) 先生方だけでは、学校の問題を解決できないことが多いのではないか。地域で育てていく、みんなを巻き込んでいく必要があるのではないか。                           |
| ○ (委員F) 学校運営協議会として、やれることを考えていくとよいのではないか。   |
| ○ (委員D) 教育関係の議員さんなどにも理解してもらって、必要なら予算等もつけてもらえるようにしていく。  |
| ○ (委員B) 不登校の現状を多くの人に知ってもらい、意識をみんなが、同じように持つるとよいのではないか。  |

# 審 議 経 過

( 4 / 4 )

<「こども110番の家」の周知、「防災マップ」について>

○ (委員C) 危険な場所をマップと動画をリンクしたものを作っている。ゆくゆくは、学校のホームページに載せられるようにする。

● 学校で、「こども110番の家」の意義、使い方を知らせることはできる。町たんけんの時に場所を確認することもできる。新入生保護者説明会でも、「こども110番の家」の存在を知らせることも可能ではないか。

○ (委員E) 人財バンクに興味を持ってもらえるようにしたい。よい方法はないか。その都度、フォームでボランティアを募っている学校もある。学習ボランティアを人財バンクに依頼するなら、学年で計画できた時点で知らせてほしい。

○ (委員F) まだ、話せていない内容もあるので、相談していきたい。

<学校の木の手入れについて>

● B、C判定については危険なので、C判定は伐採の方向で。記念樹などで、残したい木がある場合は知らせてほしい。

4 閉会

※主な発言の要旨等、審議経過がわかるように記載すること。

会長(委員長)  
署名欄

鈴木美由紀